

くまもと市議会だより

いちよう



令和6年
9月
vol.51



熊本市議会
公式ホームページ



熊本市議会
公式facebook



熊本市議会
公式Instagram



トピックス 議第175号訴えの提起については継続審査します → 詳しくは4ページをご覧ください



令和6年 第2回定例会の概要

6/4~6/27 会期24日間

6月4日 本会議

・開会 ・提案理由説明

6月6日~6月17日 本会議

・一般質問(5日間)

6月 6日 予算決算委員会理事会

6月14日 議会運営委員会

6月19日~6月20日

予算決算委員会分科会、部門別常任委員会

6月24日 庁舎整備に関する特別委員会

6月25日 予算決算委員会

・分科会長報告、締めくくり質疑、表決

6月25日 予算決算委員会理事会

6月25日 地域公共交通に関する特別委員会

6月26日 大都市行財政制度に関する特別委員会

6月26日 議会活性化検討会

6月27日 本会議

・委員長報告 ・質疑、討論、表決 ・閉会

提出議案と議決結果

市長提出議案 **55件**…原案どおり可決54件、否決0件、継続1件
議員提出議案 **7件**…原案どおり可決6件、否決1件
請 願 **1件**…不採択



主な議案の概要

○令和6年度熊本市一般会計補正予算

総額 11億1,704万円(減額補正予算含む)

●…衛生費 ●…土木費 ●…総務費

<主な内容>

- 新型コロナウイルスワクチン接種経費 …… 7億700万円
- 公共交通キャッシュレス決済環境構築費助成 …… 1億1,237万円
- 公文書館整備事業 …… 5,030万円
- 地域コミュニティセンター運営支援事業 …… 4,898万円

○熊本市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について

<改正理由>

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部を改正する政令(令和6年政令第28号)の施行に伴い、非常勤消防団員等の損害補償に係る補償基礎額の改定を行うため。

<改正内容>補償基礎額の改定

<施行日>

公布の日(令和6年(2024年)4月1日適用)

(1)非常勤消防団員

階級	勤務年数		
	10年未満	10年以上 20年未満	20年以上
団長及び副団長	12,440円 12,500円	13,320円 13,350円	14,200円
分団長及び副分団長	10,670円 10,800円	11,550円 11,650円	12,440円 12,500円
部長、班長及び団員	8,900円 9,100円	9,790円 9,950円	10,670円 10,800円

(2)消防作業従事者等 8,900円 → 9,100円

○公共交通キャッシュレス決済環境構築費助成事業に対する附帯決議※

- 本事業について執行部に対し、
- システム更新費用について、同様の問題を抱える他の自治体と連携し、補助制度の対象とするよう引き続き国へ要望を行うこと
 - 全国交通系ICカード決済システム開発事業者に対して、所要の経費の引き下げに向けた協議を要請すること
 - 多様な決済システムの構築や利用者の利便性向上を目指し、本予算の助成対象となるバス事業者との協議を進めること

四、熊本市電のキャッシュレス決済システムについては、地域公共交通の在り方との整合を図り、多角的な検証を進め、システム構築について慎重かつ丁寧に検討すること

以上の事項に特段の留意を求めるとし、採決した結果、全員異議なく附帯決議を付すことと決定しました。

※附帯決議…議会等の決議にあたって、その案件について付随的につけられる意見または要望のこと。法律上の効果は伴わない。



一般質問

第2回定例会の主な質問内容は次のとおりです。

6月6日(木)

熊本自民



北川 哉議員

質問1

地域公共交通の現状、課題と今後の展望

地域公共交通の現状と課題、地域結節や横断的公共交通などについて、今後の展望を問う。

答弁

利用者減少、運転士不足などにより、新たな路線の検討が難しい状況であり、事業者などと公共交通の再構築に向け取り組んでいる。



質問2

不登校対策とその後

不登校対策後の、中学校を卒業した生徒の進路の現状、卒業や中退の状況の把握、それに対する教育長の思い。

答弁

令和4年度、本市の不登校の生徒の大半が高等学校などへ進学している。どこもつつがない生徒をなくしていく取り組みを行っていく。

市民連合



田上 辰也議員

質問1

高齢者への終活支援相談窓口の設置

自分が死亡した後のことに不安を抱えている高齢者は多い。終活支援のため、幅広い相談窓口の設置を。

答弁

終活支援は、日常生活支援や身元保証等支援、死後事務支援と多岐にわたるため、国や他都市の動向を踏まえ、体制を検討する。



質問2

学校における複数担任制の検討状況

教員による児童生徒へのわいせつ事案の防止、教員の働き方改革のためにも、複数担任制の導入を。

答弁

今後も複数担任制のメリット・デメリットを研究し、こども一人ひとりを尊重した教育の推進および働き方改革に力を入れていく。

公明党



井本 正広議員

質問1

公共交通の運賃支払いシステム更新について

全国交通系ICカードの廃止は利用者に大きな混乱が生じるのではないかと危惧する。市長の見解は。

答弁

バスなどに新規導入される発展可能性の高いクレジットカードタッチ決済を活用し、誰もが移動しやすく暮らしやすいまちの実現に取り組む。

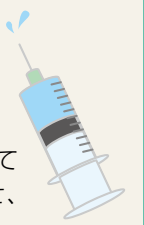
質問2

任意接種ワクチンの公費助成導入

带状疱疹ワクチン・おたふくかぜワクチン・男性へのHPVワクチンの公費助成の導入を。

答弁

带状疱疹ワクチンなどの任意接種については、国への早期の定期接種化の要望と合わせ、本市独自の助成の必要性について検討する。



6月7日(金)

自民党



田中 敦朗議員

質問1

設備改修した現庁舎使用の財政負担

設備改修した現庁舎および賃借している周辺の民間ビルを継続使用する場合の財政負担について問う。

答弁

現庁舎の設備改修の財政負担は約179億円、民間ビル賃借料は目標耐用年数までに約180億円が必要であり、合計約360億円となる見込み。



質問2

宿泊税の制度導入とその時期

宿泊税検討委員会の「導入は適当である」という答申を受け、制度導入とその時期について市の考えは。

答弁

観光振興への積極的かつ継続的な取り組みに必要な安定的財源を確保するため、令和8年のできるだけ早い時期での導入に向け準備を進める。

共産党



上野美恵子議員

質問1

現庁舎は耐震性あり、耐震分科会検証は誤り

厚さ60cm・深さ19mの地中連続壁の耐震性が明記された「工事記録集」を見なかった耐震性能分科会の検証は誤り。

答弁

二度の耐震性能調査結果が妥当かどうかの検証に必要な資料は、耐震性能分科会の委員の求めに応じて全て提供し、確認いただいた。

質問2

教員の多忙化解消と少人数学級拡充は急務

教員の多忙化解消へ、教員定数増・給特法廃止を国へ求め、市では少人数学級拡充や教員の処遇改善を速やかに。

答弁

国に対して、教職員定数の更なる増員のほか制度の見直しを求め、少人数学級に必要な財源確保や教員の処遇改善も要望していく。



無所属議員



山中惣一郎議員

質問1

持続可能な地域防災の課題と対策

自治会、避難所運営委員会、消防団など地域組織における災害時の統率と連携状況について具体的な説明を。

答弁

校区防災連絡会を中心に円滑な活動ができるよう、地域で実施する訓練などにおいて、避難所開設・運営の手順などを確認している。

質問2

市電延伸への市民理解と周知の進め方

市電延伸は多くの予算を使うことから市民の理解と合意が不可欠であり、今後の周知の進め方を問う。

答弁

事業の進捗に合わせたきめ細かな説明を行うとともに、地域住民との意見交換にも取り組む。



6月13日(木)

熊本自民



高本 一臣議員

質問1

JR新水前寺駅と新たなバス停結節

交通渋滞緩和や公共交通の利便性向上のためのJR新水前寺駅と新たなバス停結節の進捗状況は。

答弁

バス停の配置や道路構造などに関する予備設計を行っており、地域住民や関係機関と丁寧に協議を進めながら迅速に取り組む。



質問2

現庁舎の建て替え以外の手法

現庁舎を一般施設として活用し「中央区役所」及び「防災拠点施設」のみ別地へ建設した場合の事業費を問う。

答弁

ご提案の整備手法では、災害時に防災拠点として十分に機能できないため検討を視野に入れておらず、試算をお示しするのは難しい。

市民連合



吉村 健治議員

質問1

市電の全国交通系ICカード決済廃止方針

利用者の利便性のためにも、現在の環境の継続を強く望む。公の場で、再検討すべきではないか。

答弁

先に更新が始まるバス・電鉄電車の状況を注視し、市民の皆さまのご意見を伺いながら、市電の方針について議会などで議論したい。



質問2

有機フッ素化合物(PFOS・PFOA)問題

まだ、不確定要素が多い問題のため、市民に対する情報発信が重要。市民向けの健康調査の今後の予定は。

答弁

市ホームページなどで地下水や河川の水質調査結果などを公開している。健康影響については確定的な知見がないため、国の動向を注視していく。



6月13日(木)

公明党



高瀬千鶴子議員

質問1

生きづらさを抱える若者への支援について

学校での人間関係や家庭問題など、生きづらさを抱える中高生の居場所が必要だと考えるが、取り組み状況は。

答弁

フレンドリーオンラインでの心の居場所づくりに取り組むとともに、若者・ヤングケアラー支援センターを令和6年10月に開設予定。

質問2

地域の防災力アップへの取り組み

「くまもとアプリ」を活用した避難所受付の実証実験の成果は。

答弁

1人当たりの受付時間を比較したところ、紙による受け付けが70秒、アプリが4.6秒との結果となり、効率化につながることを確認できた。



6月14日(金)

自民党



日隈 忍議員

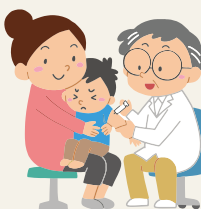
質問1

子どもたちへワクチン接種費用の助成を

全額自己負担であるインフルエンザ、おたふくかぜワクチン接種費用は子育て世代支援のため助成が必要。

答弁

早期の定期接種化を国に要望するとともに、子育て世代の負担軽減の効果などを含め、本市独自の助成の必要性について検討する。



質問2

効果的・効率的ながん対策実施への組織再編

予防から治療後のケアまで一貫した支援のため、がん対策に係る関係部署の一本化が必要ではないか。

答弁

がんは重要な健康課題であるため、今後も関係課の密接な連携を強化するとともに、効果的・効率的な組織体制についても研究する。

熊本自民



藤山 英美議員

質問1

町内自治振興補助金

役員報酬の内訳を決算報告書に記載。見える化して高額報酬は適切に指導を行い規則などの見直しを行うべき。

答弁

補助金の交付規則については、対象事業の明確化など見直しを行うとともに、役員報酬の税務手続きについても周知を行っていく。

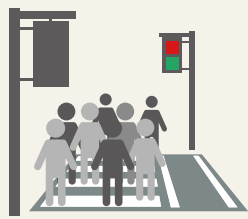
質問2

安心・安全な歩道を

狭い歩道に設置された街路樹や植樹帯に関する本市の取り組みと全体的な歩道の安心安全対策について問う。

答弁

街路樹による歩道の幅員不足への対応など、今後も地域の課題や利用状況を踏まえ、効果的な歩道の安全対策を実施していく。



公明党



吉田 健一議員

質問1

市民会館の改修を

市民会館について、階段の早急な転落防止措置と女性用トイレの仕様改善を求める。

答弁

階段の転落防止の安全対策及び女性用トイレの使用状況がわかるサイン表示の設置などの改善策について、早期に検討する。

質問2

熊本市動植物園のネーミングライツ(命名権)導入を

これまでも質問してきた熊本市動植物園のネーミングライツの導入の進捗状況はいかがか。

答弁

開園100周年のサバンナエリア公開に向け、熊本市動植物園マスタープラン推進会議の意見を踏まえ、導入についての検討を行う。



6月17日(月)

自民党



田島 幸治議員

質問1

TSMC進出に伴う企業誘致の方針

産業ゾーンの方針を踏まえた今後の企業誘致の取り組み及び工業団地の整備手法について問う。

答弁

半導体関連のほか多様な産業の集積に向けて誘致活動を進め、引き続き官民連携による産業用地整備を基本に進めていく。



質問2

熊本市電の今後の安全対策

重大事故につながりかねない事故が相次いでいる。安全管理体制や事故防止策などの検証後の取り組みは。

答弁

検証委員会により、7月中には短期的対策をまとめた中間報告が取りまとめられる予定であり、可能な対策から速やかに取り組む。

自民党



荒川慎太郎議員

質問1

本市の防災・危機管理体制と今後の方針

熊本地震を経験した本市の責務として、他の自治体を牽引するような危機管理体制と今後の方針を市長へ問う。

答弁

防災対策の充実強化を国などに対して働きかけるとともに、車中泊避難への対応など、全国の実例となるような事例にも取り組む。



質問2

分煙施設整備に関する総務省通知について

地方たばこ税の安定的な確保と分煙施設の整備促進についての通知に対する見解と整備方針、整備状況を問う。

答弁

分煙施設の整備方針について今後検討を行い、分煙環境の整備を総合的、効果的に推進することで、受動喫煙の防止に努めていく。



予算決算委員会の審査概要

全議員で構成する当委員会では、令和6年度補正予算及び関連議案について審査を行いました。

スマートフォン等で読み込むことで、インターネット中継の録画映像をご覧ください。



締めくり質疑 (令和6年6月25日)

令和6年度 熊本市一般会計補正予算

- ・公共交通キャッシュレス決済環境構築費助成
- ・公文書館整備



可決された意見書

市議会では、国会または関係行政庁に意見書を提出することで、議会としての意思を表明します。第2回定例会では、4件の意見書が可決(内4件が全会一致)されました。

発議第4号	地方消費者行政に対する財政支援(交付金等)の継続・拡充を求める意見書について
発議第5号	地方財政の充実・強化に関する意見書について
発議第6号	災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める意見書について
発議第7号	聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書について

※発議第4号～7号は、全会一致で可決されました。

総務	●第8次総合計画 アクションプランの見直し アクションプランについては、事業の内容のみならず、検証指標も適宜見直すことが重要であり、その場合は変更理由や過去の検証指標との比較が明確となるよう求めたい。	●カスタマーハラスメントへの対応 官民間問わず労働者や事業活動を守るためには不当要求防止の条例が効果的であると考え、他都市の状況を参考に本市においても対策の検討を求めたい。	
教育市民	●市立中学における共通標準服 共通標準服の導入については、保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、製造・販売を希望する事業者が広く参加できるように取り組んでもらいたい。		●はあもにい・サンライフの今後の方向性 男女共同参画センターはあもにいの大規模改修や勤労福祉センターサンライフの複合化にあたっては、市民の意見を聴取しながら慎重に進めてもらいたい。
厚生	●旧熊本市民病院跡地等の売却 跡地の売却にあたっては、地域住民の要望をできるだけ反映させるとともに、渋滞や景観への影響を考慮しつつ、丁寧に進めてもらいたい。		●生活保護エキスパート職員の育成 生活保護に関わる職員の質と量の確保が重要であり、質を担保するエキスパート職員に対し、給与面でのインセンティブや他都市への研修など、業務の魅力を高める施策を実施してもらいたい。
環境水道	●有機フッ素化合物に関する取り組み 職員による調査では限界があると思われるので、民間委託も検討してもらいたい。また、政令市として他自治体の参考となるよう経過などの記録を詳細に残してもらいたい。	●環境影響評価条例の制定 他の政令市に比べ制定が遅くなった分、内容を精査し、環境保全と開発とのバランスをとりながら、他都市にはないまちづくりに寄与するような条例としてもらいたい。	
経済	●LPガス価格高騰対策緊急支援 第二弾の支援にかかる申請受け付けが始まっているが、受付開始後約一月の時点で申請率が約15%とまだ浸透していないように見受けられるため、周知啓発に努めてもらいたい。		●酪農家への支援強化 近年の飼料代高騰や人手不足などの状況から、酪農業を取り巻く環境は厳しく、酪農家が減少してきているため、新たな支援の検討を求めたい。
都市整備	●全国交通系ICカードの廃止 市民や観光客などの利用者へ多大な影響を及ぼすものであることから、事前に、利用者などへ廃止に係る意見聴取するための十分な期間を確保し、議論を進めるべきであったと指摘したい。	●バス運賃支払方法の丁寧な説明を 決済機器の移行期間中に、全国交通系ICカードが使用できなくなることに伴い、市民への丁寧な説明・周知に努めてもらいたい。	

主な議決結果

各議員の賛否については、熊本市議会ホームページの議員名簿をご覧ください。

議案番号・件名	自民党	熊本自民	市民連合	公明党	共産党	無所属議員	議決結果
議第137号 令和6年度熊本市一般会計補正予算	○	○	○	○	×	○ ○ ○ ○ ○	可決
議第145号 熊本市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○ ○ ○ ○ ○	可決

トピックス

令和6年 第3回定例会は、9月3日(火)～9月27日(金)

詳しい会議日程は熊本市議会ホームページをご覧ください。

県道31号線(熊本田原坂線)に附属する道路の附属物の瑕疵に係る損害賠償金などの請求に関する訴えの提起は継続審査します

令和5年7月24日、上熊本駅東口前広場内の歩行者通路の屋根の一部が剥離し、落下した事故について、事故の原因を調査したところ、屋根に瑕疵があったと判断し、屋根の撤去費用と設置費用を相手方に損害賠償請求したが、相手方が応じないため、市が被った損害について、損害賠償金等を請求する訴えを提起する議案が提出されました。

しかし、これまでの執行部の説明とは異なる新たな事実も明らかとなるなど、訴えに至るまでの経緯について、都市整備委員会での質疑だけでは十分に明らかになったとは言えないため、多額の損害賠償請求の事例がないこと、明確な回答を執行部から得られていないこと、執行部に今一度調査検証及び議会への報告を行ってもらうこと、業者へのアプローチが不足しているのではないかと理由より、議案に対して賛否の判断をする状況にないことから、継続審査*としました。

*「継続審査」…会議に付された事件について、当該会期中に議決に至らず、付託を受けた委員会が閉会中に引き続き審査を行うこと。

自治功労者表彰

永年にわたり、市政発展のために尽力された議員の皆さまが表彰されました。

令和5年 第99回 全国市議会議長会
定期総会における表彰

35年以上
落水清弘 議員

20年以上
満永寿博 議員 大石浩文 議員
澤田昌作 議員 村上博 議員



令和6年 第100回 全国市議会議長会
定期総会における表彰

30年以上
坂田誠二 議員

25年以上
上野美恵子 議員 田中誠一 議員

15年以上
小佐井賀瑞宜 議員



編集後記

議会広報委員会 (10名)



島津哲也委員長 伊藤和仁副委員長 高本一臣委員 山内勝志委員 齊藤博委員
古川智子委員 中川栄一郎委員 松本幸隆委員 木庭功二委員 村上磨委員

市議会だよりをご愛読いただきありがとうございます。年に4回行われる定例会で、何を議論しているのか、本市の問題について議員はどんな動きをしているのか、詳しくお伝えするのが広報委員の役割です。今後とも分かりやすく、議会に興味を持ってもらえる紙面作りを目指してまいります。

中川 栄一郎 議会広報委員

発行／熊本市議会
編集・文責／熊本市議会広報委員会
〒860-8601 熊本市中央区手取本町1番1号
TEL.096-328-2684(議会局政策調査課)
FAX.096-324-3284
電子メール
gikaiseisakuchousa@city.kumamoto.lg.jp

